

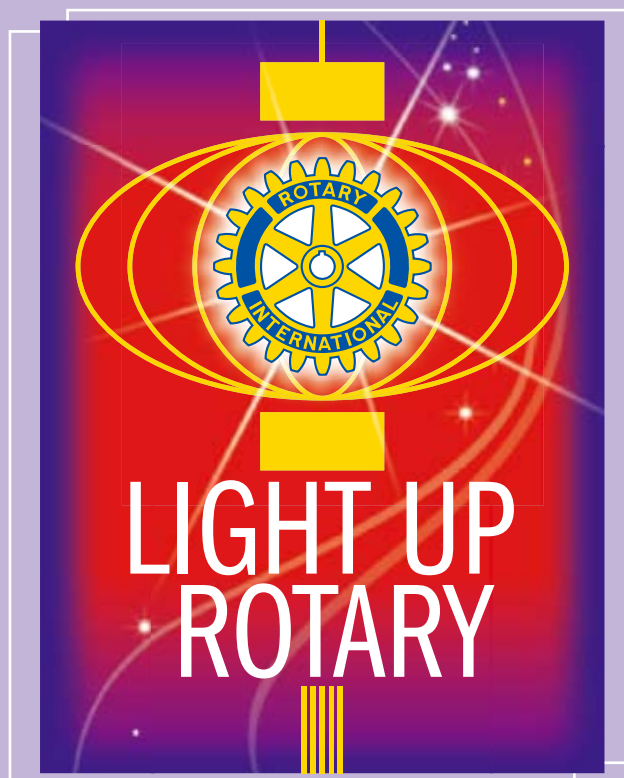
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014—2015 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

ガバナー月信 **5** 月号

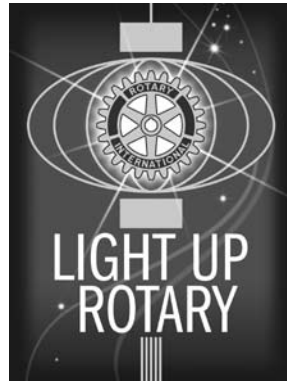
Vol.

11



国際ロータリー 第2660地区
2014—2015年度ガバナー

泉 博朗



2014-2015 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 5月号

CONTENTS

Vol.11

ガバナーメッセージ	1
第2回クラブ国際奉仕委員長会議 報告	2
第8組 インターシティ・ミーティング 報告	4
第2組 インターシティ・ミーティング 報告	5
ロータリー財団補助金セミナー 報告	6
加藤登紀子さんの歌を堪能した公開例会	8
ロータリー財団情報	9
コーディネーターニュース	10
米山奨学委員会／ロータリー財団	12
2015年3月度 会員数・出席報告	14
文庫通信	15
敬弔／お知らせ	16

敬愛する 国際ロータリー第2660地区の皆様へ

国際ロータリー第2660地区 ガバナー

泉 博朗

(大阪帝塚山RC)



敬愛する第2660地区のロータリアンの皆様方、公式訪問を通じ、皆様とお会いできました事、誠に光栄でありました。皆様とお会いし、ロータリーの素晴らしさをあらためて実感することが出来ました。心より感謝申し上げます。

皆様方の温かい笑顔は今でも忘れられずにおります。私にとりまして、一生の良き思い出として、いつまでも心に残ることでありましょう。

この様な大きなお話をいただいた時、とんでもないお話であると思いました。私がガバナーの大役をお受けしたのは、スリランカGSEチームリーダーとして素晴らしい、ロータリーでなくては出来ない体験をさせていただきましたことであり、その決心をした時期は、東北の岩沼RCに震災の支援に行っていた時でありました。私で出来ることがあるなら、私でよければ、という思いでお受けいたしました。

岩沼RCの方々から、私がガバナーノミネーになったことを、クラブ週報に載せていただき、祝福していただいたこと、スリランカのロータリ

アンから、お祝いのメールをいただいたこと、まさにロータリーの醍醐味でありました。

そして、いよいよ、公式訪問、嵐のように駆け抜けた期間でありましたが、皆様方のロータリーに対する熱き思いを感じさせていただき、大いに元気をいただきました。ガバナーとして、皆様おひとりおひとりにお会いし感じたことは、それぞれがそれぞれの方法でロータリーライフを楽しんでおられることであります。それゆえに、地区の役割は、皆様にご苦勞をさせていただく事なく、皆様に「思い」を遂げていただく事であることを、心に刻んだわけであります。

まさに、ロータリアンの皆様と、心を一つにすること、「ここをひとつにする」、「思いは同じ」、「願いは世界の平和」、「ここをひとつにする」、何度でも言います、「ここをひとつにする」ことが大事ではないかと感じております。まだ期の途中ではありますが、皆様にお知らせいたしたく、ご報告いたします。

皆様と「ここはひとつ」であります。

2014～15年度 第2回クラブ国際奉仕委員長会議 報告

国際奉仕委員会 委員長 **安井一男**
(新大阪RC)



2015年1月24日(土)、9:30～11:30、業年金会館301号室にて、泉博朗G、松本GN、PG、G補佐、G補佐Eの皆様、地区役員、2014-15年度クラブ国際奉仕委員長、2015-16年クラブ国際奉仕委員長予定者など、参加総数90名にて開催しました。

今回の主旨は、「他の団体の国際奉仕活動を聞き、現地の人々に役立ち感謝される国際奉仕プロジェクトとはどのようなものであるべきか? ロータリークラブの国際奉仕活動のあり方を問う」です。

第一部では、講演Iとして「バングラデシュでの教育支援活動」について、公益社団法人青年海外協力協会(JOCA)会員(青年海外協力隊OB)の杉浦秀隆さんに講演をお願いしました。内容は、2009年6月～2011年3月の間、バングラデシュ人民共和国ガジプールPTI(初等教員訓練機関)にて、バングラデシュの小学校教諭達に理科と算数の指導法を教授、また小学生に理科や算数の授業を行い、現地の教育のシステムの改善活動について映像等を交えて報告いただきました。



杉浦秀隆さんの講演

続いての講演IIでは「エジプト人女性の社会進出と収入向上に向けた取り組み支援活動」について、同職の辻野恭子さんに講演いただきました。内容は、エジプトアラブ共和国・紅海県ハルガダ支局ファミリープロダクト部での、現地の女性がつくる手工芸品の品質改善や販路開拓に取り組みについて、イスラム教の国での女性の活動の難しさ、現地住民との信頼関係構築の重要性についての苦労話なども織り交ぜ大変興味深いお話をさせていただきました。



辻野恭子さんの講演

休憩をはさみ、第二部では、以下のメンバーにてパネルディスカッションを行いました。

〈司会〉 国際奉仕委員長 安井一男(新大阪RC)
〈パネリスト〉

JOCA会員(青年海外協力隊OB) 杉浦秀隆
JOCA会員(青年海外協力隊OB) 辻野恭子
(前)国際奉仕委員長 栗原 大(大阪フレンドRC)
(現)国際奉仕副委員長 岩上高幸(茨木西RC)

パネルディスカッションに入る前に、パネリストの栗原大さんより大阪フレンドRCの「カンボジア・シュリムアップ州立病院のICU医療機器に関するプロジェクトについて」、岩上高幸さんより茨木西RCの「カンボジアのグラフィック診療所でのリハビリ棟の増築と、理学療法士の育成プロジェクトについて」のプレゼンをしていただきました。

続いて、次の3つのアジェンダで討論を行いました。

アジェンダ I 「国際奉仕活動を通じて感じた理想と

現実」

アジェンダⅡ

「汗をかいての奉仕活動、汗がかけない奉仕活動」

アジェンダⅢ 「国際奉仕プロジェクトの重要性」

第三部では「2015～16年度に実施する地区補助金(D.G.)を利用しての人道的国際奉仕活動の進め方」について、地区国際奉仕委員長の安井一男より説明をいたしました。

最後に地区国際奉仕部門顧問の横山守雄PGより、講評と閉会の挨拶にて会議を終了いたしました。

(参考資料)

公益社団法人 青年海外協力協会(JOCA(ジョカ))とは

Japan Overseas Cooperative Association(日本語名:公益社団法人 青年海外協力協会)の英文略称で、開発途上国の人々のために自分の持つ技術や経験を生かし活動してきた青年海外協力隊の帰国隊員を中心に組織されている、内閣府認定の公益社団法人です。

青年海外協力隊で培った精神とその経験を広く普及するため、OB・OG会をはじめとする多くの団体とのネットワークを活用し、地域に根ざした国際交流・国際協力の先駆者としてはもちろんのこと、国際社会における建設的な役割を果たせる、より有益な協力活動を展開していくことを目的としています。

青年海外協力隊とは

日本国政府が行う政府開発援助(ODA)の一環として、外務省所管の独立行政法人国際協力機構(JICA)が実施する海外ボランティア派遣制度である。青年海外協力隊の募集年齢は20～39歳。募集分野には農林水産、人的資源、保険・医療などがあり、さらに120以上もの職種に分かれている。2013年7月末現在までに88ヶ国、計38,300名の隊員が派遣されている

関連事業として、1990年にはより高い年齢層を対象としたシニア海外ボランティア(シニア海外協力隊)が、1996年には中南米の日系人社会をターゲットとした日系社会青年ボランティア・日系社会シニア・ボランティアが開始されている。2000年には派遣隊員数が2万人を突破、2013年7月末現在まででは、派遣国が計88ヶ国、派遣隊員数は延べ38,300名となっている



第8組 インターシティ・ミーティング 報告

大阪城南RC 会長 **井上裕貴**

IM実行委員会 委員長 **梅崎道夫**
(大阪城南RC)

ホストクラブ：大阪城南ロータリークラブ

開催日時：平成27年2月21日

開催場所：シェラトン都ホテル大阪

参加人員：141名

テーマ：なぜ貧しい国はなくなるのか～正しい開発戦略を考える

講師：政策研究大学院大学教授 大塚啓二郎氏

本年度第8組インターシティミーティングはIM8組川上善司ガバナー補佐指導の下、大阪城南ロータリークラブがホストクラブとして開催されました。泉博朗ガバナー、立野純三ガバナーエレクト、各組ガバナー補佐、各組ガバナー補佐エレクト並びにIM8組の多くのロータリアンが参加されました。

IMの開催の為に立ち上げられた大阪城南ロータリークラブIM実行準備委員会ではロータリーのターゲットに合うべくテーマの検討がなされました。その中で「なぜ貧しい国はなくなるのか」(日本経済出版社刊)という本に巡り合いました。そこで著者の政策研究大学院大学教授の大塚先生に直接ご講演をお願いし、ご快諾を得ました。

私たちロータリアンはクラブ単位、ツインズクラブと共に、グローバル補助金を使ったり、地区補助金を使用して人道的な支援活動を海外でも展開しています。大塚教授の著書についてご講演をいただくことは、これらの事がより深く理解を進める事になり、又

私たちが日ごろ行っています人道的支援をさまざまな角度から検討する絶好の機会だととらえ、この事がRIの今年度のテーマ「LIGHT UP ROTARY」を実践する上でも参考になると考えました。

大塚教授の講演の詳しい内容は著書に譲りたいと思いますが、教授がアフリカ、アジアの現地に赴いて具体的に見聞された事、指導されたことを基にどのように行動すべきか報告されました。世界銀行などは70%を超える人々が経済学の博士号をもつ人々がいて、数多くの論文が発表される頭脳集団だが、具体的な戦略めいたものが考えられていないのご意見もありました。また講演後の質問・質疑コーナーにおいても会場から素朴な質問として「貧しくても幸福な国・ブータン」をどのように考えたら良いのかなどの質問がなされました。

途中コーヒタイムが設けられましたが前後しても退出者がほとんどなく、出席者にとっては有意義な一日になったのではないかと考えております。



第2組 インターシティ・ミーティング 報告

吹田西RC 会長 **田中慶一**

IM実行委員会 委員長 **小林 哲**
(吹田西RC)

ホストクラブ：吹田西ロータリークラブ

日 時：平成27年3月14日(土) 午後1時30分～午後5時

場 所：ホテル阪急エキスポパーク オービットホール

参加人数：203名

IMのテーマ：ひとりひとりの輝きであなたの地域を輝かそう

講 師：パラリンピアン 中西麻耶さん

講演テーマ：あきらめない心

本年度は「出来るだけ簡素でしかも楽しいIM」を合い言葉に、主宰者である泉ガバナーの地区テーマ「ひとりひとりの輝きであなたの地域を輝かそう」をIMのテーマとしました。また、実行委員全員が「自ら汗をかいて行動する」ことも申し合わせ、会場のテーブルと座席の配置に工夫を凝らせ、吹田西RCの歴代パスト会長がテーブルリーダーとして、また会員一名がサブリーダーとして皆さんをお迎えし、参加各クラブの皆さんには各テーブルの指定された席に座っていただき、他クラブの会員と出来るだけ親睦を深めていただけするようにしました。また、来賓の方々にも各テーブルに分かれていただき、親しくご歓談いただきました。

IM当日は心配していた夜来の雨も午前中にはあがり、大勢のロータリアンの参加を得ました。講演は2016年のリオデジャネイロ、2020年の東京オリンピック・パラリンピックを目指して活躍されている、アスリートでパラリンピアンの中西麻耶さんの「あきらめ

ない心」でしたが、彼女がズボンをたくし上げて、身につけている義足を見せてくれながら、21歳で右足の膝から下を切断し、その後の心の葛藤と現実との壮絶な戦いを淡々と語ってくれた彼女の生きざまに全員が感動したのは間違い有りません。

コーヒータイムの休憩後にはこの地区をホームタウンとするガンバ大阪のチアダンスチームがパフォーマンスを披露して会場を盛り上げてくれました。

後半は12RCの活動が映像を利用しながら各クラブの会員により説明されました。出来るだけ若く在籍年数の短い会員にお願いしましたが、中には本音でお話いただいた方もおられ、会場を沸かせていただきました。歴史も地域も違うクラブの発表は非常に興味を引く物で、今後の各クラブ運営の参考になったものと思われま

す。途中退場された方は極めて少数で、最後の点鐘まで大勢のロータリアンにお残りいただきましたことに改めてお礼申し上げます。



ロータリー財団補助金セミナー 報告

ロータリー財団委員会 副委員長

宮里唯子

(茨木西RC)

2015年2月28日(土)、OMMビルにて財団補助金管理セミナーを開催致しました。

このセミナーへの参加は、2015-16年度にクラブが財団補助金プログラムに参加する為の資格認定プロセスのひとつですが、もう一つの要件であるクラブの覚書も昨年同様当日回収致しました。セミナーは以下の要領で開催されましたので、ご報告申し上げます。

『開会挨拶』

泉 博朗DG、財団部門顧問 大谷透PDG

ロータリー財団が提供する補助金はクラブとロータリアンによる効果的な奉仕活動を推進させる燃料であり、その補助金が公平かつ透明性をもって分配・管理される事は極めて重要であります。

本日のセミナーが適正な補助金運用の為に有効なセミナーとなることを期待しています。また、財団補助金の原資であるロータリー財団の年次基金寄付の増進に、クラブ会長、クラブ財団委員長のご理解と協力をお願いします。

『ロータリー財団』

財団委員長 溝畑正信(東大阪東RC)

補助金を使用した奉仕活動は「世界で良いことをしよう!」の標語の実践です。補助金を利用した奉仕活動を積極的に実施してください。

また国際ロータリー及びロータリー財団は、ポリオプラスやロータリー平和センターの各プログラムに力を入れています。

ポリオは2018年の撲滅宣言を目指し、平和センターは、世界で平和と紛争予防のために活躍する平和フェローを生み出しています。

『財団の新しい資金モデル』

財団副委員長 宮里唯子(茨木西RC)

ロータリー財団は「プロジェクトに補助金を提供し続け、不況に備えるための運営準備金を含め、堅固な財務基盤を維持する」という長期戦略のもと、2015年7月から新しい資金モデルを導入します。

これは、今まで財団の運営費が年次基金等の投資収益だけに依存していたものを、必要な場合(投

資収益が不足した場合や運営準備金が3年分の運営費に達していない場合)に年次基金の5%を運営費に充当するというものです。このほかにも、大口の企業寄付の10%(企業との交渉次第)、グローバル補助金の現金寄付の5%が運営費に充当されるようになります。

この新しい資金モデルの目的は、収益の不調がプログラムやロータリアンの奉仕活動に影響を与えない事ですが、2014年は投資収益が運営費に充分であると同時に、運営準備金も十分なレベル(3年分の運営費)に達しており、余剰金800万ドルは恒久基金に参入されています。

『財団補助金モデルー グローバル補助金』

財団補助金小委員会 委員長 四宮孝朗(大阪西南RC)

グローバル補助金は、6重点分野に該当し、その成果が持続・測定可能で、実施国と援助国のロータリーが提唱する大規模かつ国際的プロジェクトに活用できます。

人道奉仕だけではなく、大学院レベルの奨学金(グローバル奨学生)や職業研修チーム(VTT)の派遣にも申請が可能です。プロジェクトの規模はUS\$30,000ドル以上である必要がありますが、当地区の場合申請クラブは地区財団活動資金(DDF)を併せて申請する事ができます。

プロジェクトの立案にあたっては、①地域社会のニーズ調査、②現地での物資の調達、③現地の資金源の確保、④研修・教育・呼びかけ、⑤受益者の参加、⑥モニタリングと評価、を含める必要があります。2015-16年度のDDFは、人道奉仕とVTTにUS\$140,000、奨学金にUS\$50,000ドルを準備していますので、各クラブの活発な申請を期待しています。

『財団補助金モデル－地区補助金』

補助金担当グループリーダー 大野康裕(大阪北RC)

地区補助金は、地元と海外における奉仕活動のための補助金です。その配分については、地区に裁量権があります。

当地区では、クラブによる国内外の奉仕活動(親睦や記念式典や、ロータリアンの旅費は不可)に対し、予算と見積の根拠が明白で、利害の対立の回避と可能性が開示されているなど、ロータリー財団と当地区の申請要件を満たしていれば積極的に申請して頂きたいと思えます。

尚、配分額ですが、プロジェクトの予算が40万円以上であれば、国内の場合20~60万円、海外の場合は20~100万円を配分致します。但し、前年度のクラブ平均年次基金寄付の実績により、減額されることもありますので御注意下さい。

『補助金管理について－クラブの覚書』

財団補助金小委員会 委員長 片岡利雄(大阪南RC)

クラブの覚書(MOU)は、補助金管理について7

項から構成されています。第4項の「銀行口座に関する要件」では補助金専用口座を開設しなければならないとされていますが、補助金に加えクラブ拠出金も一旦入金して下さい。

また補助金をクラブの一般会計口座など、他口座に振り替えないで下さい。補助金口座は、プロジェクトに関連する支出入のための口座です。

第5項「補助金資金使用に関する報告」には、最終(中間)報告書の提出期限を遵守することが記載されていますが、活動や購入物品に変更が生じた場合にも、必ず事前届けが必要であることに御注意下さい。

『講評・閉会挨拶』

立野 純三DGE(大阪RC)

第2660地区の補助金を使った奉仕活動は大変活発です。各クラブの熱意と努力の賜物です。

本日も熱心に参加頂きありがとうございました。

今後も益々、ロータリー財団の補助金の活用がクラブの活性化につながる事を祈念しております。



加藤登紀子さんの歌を堪能した公開例会

森下勝之

(池田RC)

ロータリー活動理解月間の1月に合わせたロータリーリーダーとして、また家族奉仕・社会奉仕の一環として、公開例会を開催しました。

会場は池田市逸翁美術館内の110人収容の本格ミニコンサートホールで、2月第1例会の移動例会として実施しました。

会員とその家族や知人、池田RAC、西宮ガバナ―補佐・野村ガバナ―補佐エレクト・他の1組RCの皆さま、産経新聞事業団の障害者支援施設；池田三恵園の方々も20名招待して総勢105名の出席をいただきました。

加茂会長の開会点鐘に始まり、国歌斉唱(何十年ぶりかなとの反響も)・奉仕の理想：ロータリーソ

ング合唱から、通常の例会プログラム進行に沿ってニコニコ発表まで紹介、ロータリーの友を全員配布したこともあり、会員家族・知人や障害者施設の方にも活動の多くを広く知っていただけたと感じます。

お楽しみの卓話には、会長の肝いりで特別に90分の加藤登紀子コンサートを用意しました。ミニコンサートならではの登紀子さんの語りと歌声の息遣いまで感じられる臨場感で美しい歌声を堪能しました。

歌手活動50周年の登紀子さんは、共演したことのある故・高倉健さんの思い出など感極まる語りもたっぷり、アンコール時は池田の銘酒 緑一(毎月初例会の乾杯用：吉田会員寄贈)で“ほろ酔い”も入り全員が堪能した例会となりました。



ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑正信

(東大阪東RC)

【RI第1,2,3ゾーン会員基盤向上セミナー 第2日目 ～ロータリー財団を活用した奉仕活動の更なる実践の部～】

2015年3月31日(火)、ホテルオークラ東京別館 アスコットホールで開催され、当地区から泉G、立野GE、松本GN、宮里次年度R財団委員長、栗原次年度広報委員長、松下資金推進小委員長、溝畑R財団委員長・次年度第3ゾーンR財団地域コーディネーター補佐が参加しました。

*15-16年度ロータリー財団の優先項目と具体的目標として、「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」という3つの項目を柱としたロータリー戦略計画を支えるため、2015年7月1日に始まる3年間のロータリー財団の優先項目が提案されました。

優先項目1：永久にポリオを撲滅する

優先項目2：ロータリー財団に対するロータリアンの知識、参加、寄付を向上させる。

優先項目3：財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める。

優先項目4：ポリオプラスにおける成果と「世界でよいこと」をしてきた100年の歴史に特に注目し、財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める。

*セミナープログラムでは、次期ロータリー財団地域コーディネーターから、2015年3月16日～19日米国エバンストンでの研修セミナー報告、ロータリー財団の活動実践事例発表として、「タイ東北地区における先端的家畜人工授精技術の伝授」「ネパール看護師能力向上プロジェクト(VTT)」、ロータリー財団奨学生体験発表があり、またロータリー平和フェローについて、グローバル補助金の更なる活用に向けて、奨学生の募集方法・PR、留学生のホストクラブの探し方、奨学生と将来どのように関わっていくか、グローバル補助金の取り組み方と手続き「Initial Talkの手順」、ロータリーカードの普及について「ロータリーカードで社会貢献を」、ポリオプラス「END POLIO NOW：歴史に1ページを刻もう」、ロータリー財団地域セミナーアンケート報告及び同アンケートを通して得たもの、「My Rotary」アカウント登録方法等の報告がなされました。

【ロータリー学友の定義の拡大】

RI理事会とロータリー財団管理委員会は最近、ロータリー学友の定義を拡大し、財団に限らずすべてのロータリープログラム(以下)に参加した個人を含めることを決定しました。

インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年交換、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)、ロータリー平和フェロー、グローバル補助金奨学金、職業研修チーム(チームメンバーならびにリーダー)、地区補助金奨学金、新世代交換、ロータリー財団の以前のプログラム(以下のプログラム)国際親善奨学金、大学教員のためのロータリー補助金、研究グループ交換、ロータリーボランティアです。

以上のプログラム参加者には、学友人道奉仕世界賞と最優秀学友賞の受賞資格があります。

【追加資金3,480万ドルをポリオ撲滅活動に】

ロータリーは、ポリオ撲滅活動に追加資金3,480万ドルの投入を決定しました。皆様から寄せられたこの資金は、WHO(世界保健機構)とユニセフによって使用され、野生ポリオウイルスが常在する3カ国(アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタン)を含む10カ国での予防接種活動とウイルス監視活動、またアフリカ諸国での技術サポートに活用されます。

【ポリオ症例数】

2015年4月14日現在のポリオ症例数です。

	2015年1月1日～4月14日	2014年
アフガニスタン	1	28
パキスタン	21	306
ナイジェリア	0	6
ポリオ常在国以外		
エクアトリアル・ギニア	0	5
イラク	0	2
エチオピア	0	1
カメルーン	0	5
ソマリア	0	5
シリア	0	1
世界合計	22	359

コーディネーターニュース

私なりにまとめたRI戦略計画とその実行

公共イメージコーディネーター補佐 **鈴木秀憲**
(吹上RC)

2001-02年度、国際ロータリーは奉仕の第2世紀を迎え、組織を導く長期的な計画の立案を始めました。「The RI Strategic Plan」当初は長期計画と和訳され、昨今は戦略計画と訳されます。

以来この戦略計画は定期的に見直され、更新されています。(Strategic Planの直訳は戦略計画です。長期計画の方が理解しやすいと感じますが、戦略計画とした方が、重要性が高いと感じる様な気がします。) 2009年、RI理事会はこの大幅な見直しを行い、RIとロータリー財団が進むべき進路が一致するように改訂し2010年7月1日から有効としています。

2015年3月30~31日に行われた会員基盤向上セミナーで、ロータリーコーディネーターの金杉誠氏に伺ったお話(RI戦略項目の3つの項目は夫々関連性を持っている)に、自分の考えを加えてまとめました。

RI戦略計画は、3つの優先項目と5つの中核的価値観で構成されます。

【3つの優先項目】

○クラブのサポートと強化

(ロータリーコーディネーターが支援)

○人道的奉仕の重点化と増加

(ロータリー財団地域コーディネーターが支援)

○公共イメージと認知度の向上

(公共イメージコーディネーターが支援)

注目すべき点は、3つの項目は夫々関連性を持っているという事です。

即ち、人道的奉仕をすれば(結果として、世間の関心と評価は高まり)自ずと公共イメージが上がります。公共イメージが上がると(賛同者が増え、会員増強に繋がり)クラブのサポートと強化に繋がります。クラブが強化されれば(会員が増強されれば)人道的奉仕が更に進み、その結果公共イメージは上がり、会員が増え、クラブは強化されます。つまり、良い循環になるという事です。

この循環は、優先項目の何処から始めても(結果として)良い循環になります。大切な事は、先ず自ら

始めるという事だと思います。

3つの優先項目には、具体的な目標が全部で16項目明示されています。どれも実現可能な事ばかりです。着手し易い身近な事から始めましょう。

先ずは自分自身が公共イメージの向上を

公共イメージは他人に云われて認識されるものではありません。世間の方々が我々の言動を見て、良いと感じて下さる結果です。

我々の言動とは抽象的な表現ですが、具体的には戦略計画を構成している5つの中核的価値観を、ロータリアン個々が大切に磨き、実行する事であると思います。

○奉仕

私達ロータリアンの重要な要素です。RIを通じて、或いは地区で、或いはクラブで、若しくは個人で奉仕する喜びを実感しましょう。

○親睦

ここで指す親睦は、単なる飲み食いや遊びによる親睦だけでは無く、奉仕を共に行う事によって心の底から得られる親睦です。場合によっては民族や国家をも超えて得られるものも有ると思います。

○多用途性

私達の生き方は様々です。職業も色々です。環境も仕組みも色々あります。自分の考えや身近の方々の考えだけでは無く、多種の方々の存在や考えを認め、理解し合う事が大切です。地域や国を超えて理解し合う事で、自分自身の世界も広がると考えます。

○高潔性

ロータリアンは、仕事に於いても、人間関係に於いても常に高い倫理観を以って活動しています。これは他人に押し付けるものでも無く、自分で実践するのみです。黙っていても他人は観ています。

○指導力

ロータリアンは、夫々が夫々の分野に於いて優れたリーダーです。

指導力を更に磨き、ロータリー活動に、或いは職業の場で、或いは地域社会に於いて、この指導力を遺憾無く発揮しましょう。

最後に会員増強について一言

会員増強は、どんな組織にとっても必要な事です。しかし、大切な事は、会員増強を会員数が少ないからと云う組織の都合で行うのではなく、ロータリーへ入会して頂いて「私達と一緒に良い事をしましょうよ。」と云う気持ちやお誘いの呼びかけが無くてはならないという事です。

○ロータリーに入会すると

- ・素晴らしい考えや実績を持つ方々との出会いがあります。
- ・自分や職業を高める機会を得られます。
- ・自分の住む地域に貢献する行事に、参加する事が出来ます。
- ・世界に於いて、困っている事を解決する行事に参加する事が出来ます。

こんな考えで、共に奉仕できるメンバーをお誘い頂きたいと考えます。

米山奨学委員会／ロータリー財団

地区米山奨学委員会より

2015年 2月末	全国寄付金合計額	1,111,632,541円	(前年度比4,300万円増)
	第2660地区寄付金合計額	73,112,150円	(前年度比7.86%増)
全国寄付合計トップ10			
1. 第2650地区	79,197,474円	6. 第2590地区	57,762,440円
2. 第2660地区	73,112,150円	7. 第2690地区	47,243,618円
3. 第2750地区	65,808,890円	8. 第2580地区	46,159,432円
4. 第2760地区	59,499,070円	9. 第2820地区	40,048,000円
5. 第2770地区	57,960,417円	10. 第2780地区	39,649,100円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました(2015年2月)。

氏名	回数	クラブ名
北野 克美	1回目	新大阪RC
平松 悦子	1回目	大阪なにわRC
大塚 道夫	5回目	大阪西RC
田村 和豊	1回目	大阪西北RC
勝亦 良彰	3回目	大阪西北RC
富島 俊治	3回目	大阪西北RC
杉本 侃	4回目	大阪西北RC
上田 宏二	7回目	大阪西北RC
古市 仁	7回目	大阪西北RC
萩谷 雅一	1回目	大阪天王寺RC
阪 広久	2回目	大阪天王寺RC
汲田 英明	2回目	大阪天王寺RC
米田 誠治	3回目	大阪天王寺RC
四ッ碓 行雄	6回目	大阪天王寺RC
宇田 壽彦	6回目	大阪天王寺RC
中谷 龍石	6回目	大阪天王寺RC
服部 四郎	6回目	大阪天王寺RC

氏名	回数	クラブ名
能口 武雄	7回目	大阪天王寺RC
菊地 潤也	1回目	大阪東南RC
岡山 榮雄	1回目	大阪東南RC
榛木 博章	1回目	大阪東南RC
山下 和郎	1回目	大阪東南RC
宇佐美 貴史	1回目	大阪東南RC
西辻 豪人	1回目	大阪東南RC
松崎 達郎	2回目	大阪東南RC
井本 喜代次	2回目	大阪東南RC
松田 清司	3回目	大阪東南RC
森脇 隆	4回目	大阪東南RC
大山 文雄	4回目	大阪東南RC
山口 雅民	5回目	大阪東南RC
三野 文男	6回目	大阪東南RC
田中 研一	7回目	大阪東南RC
杉浦 勝昭	7回目	大阪東南RC
奥田 実	7回目	大阪東南RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました(2015年2月)。

クラブ名	回数
大阪天王寺RC	53回目

クラブ名	回数
大阪東南RC	30回目

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました(2015年2月)。

氏名	クラブ名	氏名	クラブ名	氏名	クラブ名
坂田 大明	大阪西南RC	津田 良樹	大阪西南RC	河合 秀行	大阪西北RC
松崎 勝司	大阪西南RC	服部 潤承	池田くれはRC	粟村 卓家	大阪西RC
秋目 哲郎	大阪西南RC				

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです(2015年2月)。

氏名	回数	クラブ名	氏名	回数	クラブ名
近藤 大三	1回目	大阪天王寺RC	島野 秀行	3回目	大阪西南RC
吉田 洋	3回目	大阪天王寺RC	小野 一郎	1回目	大阪西南RC
山本 研二郎	3回目	大阪天王寺RC	田邊 和宏	2回目	大阪西南RC
伯耆 徳武	1回目	大阪天王寺RC	山口 一儀	2回目	大阪西南RC
井上 隆智	1回目	大阪天王寺RC	丹羽 健二	4回目	大阪西南RC
宇田 壽彦	2回目	大阪天王寺RC	増田 國次	1回目	大阪西南RC
近藤 勲	2回目	大阪天王寺RC	四宮 孝郎	4回目	大阪西南RC
谷野 清孝	2回目	大阪天王寺RC	青木 達也	3回目	大阪西南RC
林 幸二	2回目	大阪天王寺RC	増田 康次	2回目	大阪西南RC
高木 正夫	1回目	大阪天王寺RC	梅本 禎親	2回目	大阪西南RC
南園 良三郎	1回目	大阪天王寺RC	大谷 久仁雄	1回目	大阪中央RC
米田 誠治	1回目	大阪天王寺RC	西村 暲	5回目	大阪西北RC
南部 高志	3回目	大阪天王寺RC	田中 潤治	4回目	大阪西北RC
和田 健	2回目	大阪天王寺RC	藤井 進次	5回目	大阪西北RC
河野 利紘	2回目	大阪天王寺RC	三宅 有	2回目	大阪西北RC
四ツ碓 行雄	2回目	大阪天王寺RC	清水 美溥	5回目	大阪西RC
高澤 富士子	2回目	大阪西南RC	高橋 洋祐	1回目	大阪西RC

2015年 3月度 会員数・出席報告

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	3月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率	
			全員	女性							
I M 第 1 組	池田	36	35	2	2	3	-1	4	72.73	61.41	
	池田くれは	28	31	3	4	1	3	4	89.98	85.50	
	箕面	28	28	3	1	1	0	4	73.48	69.65	
	箕面千里中央	23	24	0	1	0	1	4	97.72	95.49	
	豊中	43	43	3	1	1	0	4	80.59	69.44	
	豊中南	27	24	2	0	3	-3	4	79.56	75.15	
	豊中千里	35	37	3	5	3	2	4	86.26	83.25	
	小計	220	222	16	14	12	2		82.90	77.13	
	I M 第 2 組	茨木	26	27	3	2	1	1	4	94.13	88.05
		茨木東	41	38	4	0	3	-3	4	73.38	65.68
茨木西		27	27	6	0	0	0	4	87.96	80.67	
千里		36	35	0	0	1	-1	4	84.28	78.18	
千里メイプル		21	23	3	2	0	2	4	80.72	69.88	
摂津		33	34	1	4	3	1	3	98.81	87.54	
吹田		60	62	10	4	2	2	4	97.35	89.23	
吹田江坂		32	33	2	3	2	1	4	100.00	90.25	
吹田西		47	46	2	0	1	-1	4	100.00	89.66	
高槻		45	50	6	7	2	5	4	92.77	85.06	
高槻東	38	38	2	0	0	0	3	93.24	88.30		
高槻西	21	20	0	0	1	-1	4	96.25	77.50		
小計	427	433	39	22	16	6		91.57	82.50		
I M 第 3 組	大東	39	42	0	4	1	3	4	97.83	93.77	
	大東中央	27	28	11	2	1	1	3	66.84	64.07	
	枚方	43	43	0	3	3	0	4	92.86	85.72	
	門真	31	31	5	1	1	0	4	89.25	74.38	
	交野	33	32	1	0	1	-1	4	81.98	78.07	
	香里園	16	18	1	3	1	2	4	91.08	78.95	
	くずは	49	51	0	5	3	2	3	77.30	69.15	
	守口	41	40	3	1	2	-1	4	90.38	85.31	
	守口イブニング	27	26	4	0	1	-1	4	75.00	69.23	
	寝屋川	43	43	5	0	0	0	4	88.69	84.52	
四條畷	12	4	0	0	8	-8	4	100.00	100.00		
小計	361	358	30	19	22	-3		86.47	80.29		
I M 第 4 組	東大阪	73	72	0	1	2	-1	4	83.48	76.32	
	東大阪中央	27	26	0	1	2	-1	4	90.00	79.46	
	東大阪東	60	63	5	4	1	3	4	83.95	71.08	
	東大阪みどり	27	25	1	1	3	-2	3	75.31	61.73	
	東大阪西	31	31	0	1	1	0	4	96.23	77.24	
	大阪柏原	31	31	2	0	0	0	4	84.94	83.86	
	大阪ネクスト	18	20	8	2	0	2	4	68.00	46.00	
	八尾	59	57	0	1	3	-2	4	81.52	78.26	
	八尾中央	16	16	0	0	0	0	4	81.59	68.27	
	八尾東	25	27	1	2	0	2	4	70.86	64.37	
小計	367	368	17	13	12	1		81.59	70.66		

I M 組	クラブ名	7月期初 会員数	3月末会員数		入会者 数累計	退会者 数累計	増減	例会 数	出席率	ホームクラブ 出席率
			全員	女性						
I M 第 5 組	大阪中央	46	53	7	7	0	7	4	86.75	73.54
	大阪堂島	31	26	2	0	5	-5	5	84.44	80.00
	大阪北	188	187	0	8	9	-1	4	76.29	61.38
	大阪北梅田	50	56	5	8	2	6	5	78.34	67.51
	大阪西	75	80	0	7	2	5	5	86.71	78.22
	大阪大淀	38	37	0	1	2	-1	4	91.97	83.21
	大阪リバーサイド	35	33	6	0	2	-2	4	86.39	69.61
	大阪西北	49	50	0	2	1	1	5	87.78	75.56
	大阪そねざき	42	42	24	3	3	0	4	91.93	78.88
	大阪梅田	20	27	2	8	1	7	4	87.48	80.31
大阪梅田東	34	36	0	4	2	2	4	81.15	70.85	
大阪ユニバーサルシティ	35	34	5	0	1	-1	3	86.46	71.88	
小計	643	661	51	48	30	18		85.47	74.25	
I M 第 6 組	大阪	261	269	3	20	12	8	4	74.12	58.54
	大阪東	119	127	0	11	3	8	4	94.29	80.22
	大阪東淀ちゃやまち	29	28	3	0	1	-1	4	72.22	65.28
	大阪城東	42	46	6	5	1	4	4	82.65	78.19
	大阪中之島	27	29	1	3	1	2	4	93.96	81.03
	大阪大手前	34	36	5	3	1	2	4	94.16	85.52
	大阪城北	43	51	3	8	0	8	4	90.49	70.41
	大阪天満橋	62	62	0	2	2	0	4	84.99	79.41
	大阪鶴見	30	33	2	3	0	3	4	80.45	78.00
	大阪淀川	28	31	4	3	0	3	4	85.48	69.69
新大阪	33	32	1	0	1	-1	4	85.94	84.38	
小計	708	744	28	58	22	36		85.34	75.52	
I M 第 7 組	大阪フレンド	26	26	3	1	1	0	3	76.00	60.00
	大阪御堂筋本町	57	55	2	1	3	-2	4	85.23	71.38
	大阪南	152	164	0	15	3	12	4	85.55	76.22
	大阪難波	53	51	0	0	2	-2	4	86.61	76.87
	大阪なにわ	24	25	3	2	1	1	4	90.74	82.54
	大阪南西	14	14	3	0	0	0	4	78.85	70.67
	大阪西南	96	101	24	7	2	5	4	83.16	72.03
	大阪船場	40	40	2	0	0	0	4	96.00	82.25
	大阪心斎橋	38	37	0	1	2	-1	4	95.95	82.88
	大阪うつば	33	35	3	2	0	2	4	87.51	83.79
小計	533	548	40	29	14	15		86.56	75.86	
I M 第 8 組	大阪平野	31	38	3	7	0	7	4	97.88	88.04
	大阪イブニング	12	13	2	1	0	1	4	91.99	86.06
	大阪城南	50	49	0	1	2	-1	4	97.70	90.30
	大阪咲洲	17	17	1	1	1	0	4	88.23	77.93
	大阪天王寺	55	59	0	4	0	4	4	88.94	81.25
	大阪帝塚山	51	48	4	1	4	-3	4	89.35	81.31
	大阪東南	48	46	0	1	3	-2	4	97.83	70.11
	大阪アーバン	26	28	7	2	0	2	4	86.60	85.71
	大阪みおつくし	30	25	15	1	6	-5	3	57.68	52.57
	小計	320	323	32	19	16	3		88.47	79.25

合 計	クラブ名	7月期初 会員数	月末会員 数	女性 会員 数	入会者 数累計	退会者 数累計	増減	平均出席率	ホームクラブ 平均出席率

文庫通信 (331号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約23,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報抜粋

- 「ロータリー東日本震災復興基金日本委員会活動報告」 黒田正宏編集 2014 47p
- 「街を流された方々を診て…」 畑山 徹 2013 4p (D.2830地区大会記録誌)
- 「ロータリアンとは その1～3」
深川純一 伊丹R.C. 2014 3p (純ちゃんのコーナー PartXIII)
- 「国際ロータリーにおける中央集権と地方分権」 直木太一郎 1971 3p
- 「『職業奉仕』は菩薩の両願」 塚原房樹 2015 1p (D.2510月信)
- 「そして賽は投げられた」 久野 薫 2015 1p (D.2680月信)
- 「職業奉仕」の10分スピーチ」 新藤信之 2014 2p
- 「職業奉仕の森」 鈴木一作 13p
- 「ロータリーの倫理的行動指針の変換」 柿沼利明 2012 1p (古河東R.C.週報)

[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
 TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館 午前10時～午後5時 休館 土・日・祝祭日

敬 弔

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

土手基史 会員（茨木RC）

2015年2月28日 逝去（享年68歳）

会長、理事、
職業奉仕委員長

ポール・ハリス・フェロー

井上義信 会員（吹田RC）

2015年3月8日 逝去（享年78歳）

会長、理事、
地区幹事、IM第2組実行委員長、
ガバナー補佐

米山功労者（マルチプル）
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター（大口寄付者）

真島栄一 会員（箕面RC）

2015年4月11日 逝去（享年88歳）

青少年交換委員長、職業分類委員長、
米山奨学委員長、会報委員長

米山功労者（マルチプル）
ポール・ハリス・フェロー

お知らせ

■例会場変更

茨木東ロータリークラブ

茨木商工会議所

茨木市岩倉町2番150号 立命館いばらきフューチャープラザ(B棟) 1F

TEL 072-622-6631

■例会場名称変更

吹田江坂ロータリークラブ

吹田西ロータリークラブ

新大阪江坂東急REIホテル

■ホームページアドレス変更

大東中央ロータリークラブ

新アドレス <http://www.dcrc31477.com/>

東大阪ロータリークラブ

新アドレス <http://www.higashiosaka-rc.jp/>

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAX またはE-mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。
- 今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布させていただきますので、出来るだけ多くの方のお申込みをお待ちしております。

月信編集委員会

- ガバナー 泉 博朗 (大阪帝塚山RC)
- 地区代表幹事 川上 富清 (大阪帝塚山RC)
- 地区副代表幹事 新井 文三 (大阪帝塚山RC)
- 担当地区幹事 澤田 正實 (大阪帝塚山RC)
- 担当地区幹事 渡邊 純一 (大阪帝塚山RC)
- 事務局長 栗正 久美

2014-2015年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	泉	博朗
地区代表幹事	川上	富清
地区副代表幹事	新井	文三
事務局長	栗正	久美
事務局員	井上	望美
	加茂	春日
	船橋	美紗子
	杉本	亜鶴巳

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

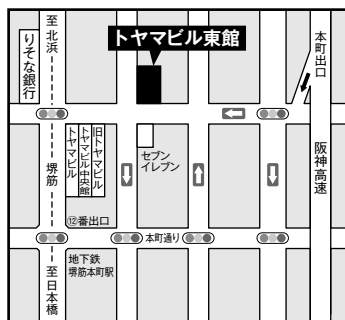
<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日



※地下鉄堺筋線 堺筋本町 ⑫番出口すぐ

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階

TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan

TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp